

アコムは、あなたと成長したい。

2004年3月期決算。アコムは、計画をこえる成果をあげました。

■減益決算ながら、事業環境の好転と、経営戦略の実りが見られました。

2004年3月期は2003年3月期に引き続き減益決算となりましたものの、経常利益は中間決算時点での計画を下期で29.2%、通期で12.7%上まわることができました。減益となりました最大の理由は、貸倒費用の増加にあります。しかし貸倒引当金の積増額、および貸倒損失額ともに2004年3月期の下期は上期に比べ減少しており、その増加はピークを打った感があります。計画を上まわる結果を出すことができた理由といたしましてはまず、事業環境の悪化に一部底打ちの兆候が見られたこと。そしてこれまで取り組んでまいりました新営業体制の確立などの経営基盤の強化、および金融周辺事業の積極的展開が一定の成果をあげてきたため、と考えています。

■金融周辺事業の多くが大きく成長しました。

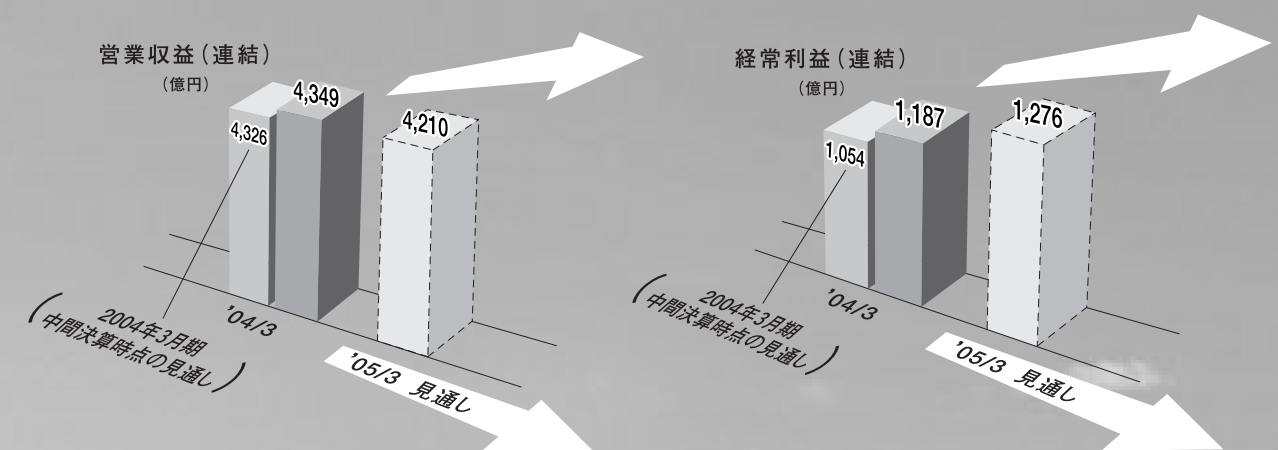
営業収益の前期比で、クレジットカード事業が15%増、保証事業が170%増、サービサー事業に至っては201%増という、非常に大きな成長をとげることができました。

■今後も環境の好転を前提とせず、競争力のあるアコムをめざします。

アコムは、これからも厳しい経済環境が続くことを前提として経営を推進してまいります。

むしろ現在の逆境を圧倒的な競争優位性を得るチャンスと捉え、今後さらにコア事業であるローン事業の徹底した強化、周辺事業の加速度的な拡大成長をはかります。2005年3月期の計画は減収増益ですが、来期以降には再び継続的な増収増益を実現させることをめざし、全力で事業に取り組んでまいります。

いま、あなたも、アコムのオーナーに。



◎三菱東京フィナンシャル・グループとの業務提携により、ブランド力、財務力、マーケティング・インフラなどを一層強化してまいります。

業務提携は、主に株式会社三菱東京フィナンシャル・グループの子会社である株式会社東京三菱銀行との間で推進して行く予定となっています。現在、以下のような内容で合意しており、これをさらに拡大、発展させて行く計画です。

- 提携内容
- 東京三菱銀行のコンシューマー・ファイナンス業務拡大に伴う債務保証業務のアコムへの委託。
 - 東京三菱銀行のsmallビジネスの決済資金にかかわる債務保証業務のアコムへの委託。
 - アコムの保証業務、サービサー業務などに関し、取引先金融機関・事業法人との業務提携拡大へ向けた相互の協力。
 - 相互のネットワーク・インフラの有効活用についての検討・推進。
 - アジア地域を中心とした消費者金融業務の国際展開の推進。

●2004年3月期決算の詳しい情報を公開しています。ぜひご覧ください。

www.acom.co.jp/ir/